

TOP MUSEUM



東京都写真美術館
ニュース eyes97

- 志賀理江子
ヒューマン・スプリング
- 写真の起源 英国
- 第11回恵比寿映像祭
トランスポジション 変わる術

志賀理江子

ヒューマン・スプリング

Shiga Lieko Human Spring

2F | 2019.3.5|火| - 5.6|月・振休|

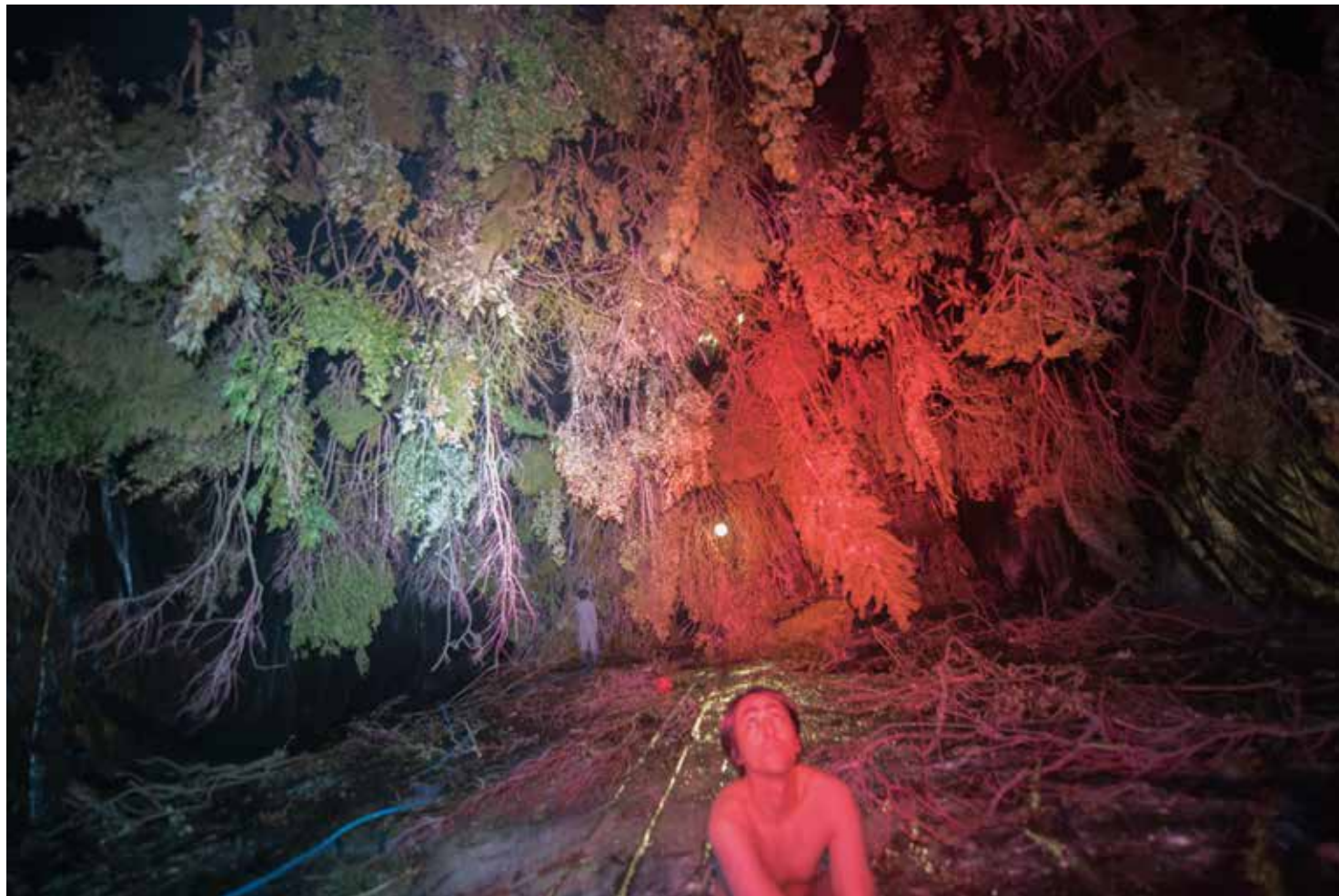
「東北の長い冬の果てに訪れる春は、
ある日突然来るように感じる。
それは心よりも先に、
身体が反応せざるを得ないほどに、
意味深いものだ。」*

東京都写真美術館では、独自のフィールドワークを元に制作する作品群で、日本国内のみならず、国際的な注目を集める写真家志賀理江子の新作個展「ヒューマン・スプリング」を開催します。

2006年、作家は展覧会参加のため初めて東北を訪れました。その後2008年から宮城県に移住し、土地に暮らす人々と出会いながら作品を制作する生活のなかで、長く厳しい冬を打ち破るような東北の春に惹かれていきます。変わりゆく季節から溢れ出る強烈な生のエネルギーが、同時に死を抱え込んでいることに共感した作家は、人間があらゆる位相でさまざまなイメージを求め続ける理由の源をそこに見出し、追い、また、それらが社会にどう繋がれているのかを知ろうとしました。

2011年3月の東日本大震災で、多くの人々の命が一瞬で奪われることを目前にした作家の壮絶な体験は、深く心に刻まれました。時空の裂け目に飛び込むような写真表現は、自らの衝動と重なるものと言えるでしょう。

本展覧会では、現在を生きる私達の心身の衝動と反動などに焦点をあて、日本各地の様々な年代、職業の人々とともに協働し制作した新作を、等身大を超えるスケールの写真インスタレーションで構成します。平成が終わる大きな節目の春に精神の極限を見つめ、現代の社会と個人、自然と人類の関わりを編みなおし、生の解放される場となれば幸いです。



【主催】東京都 東京都写真美術館／東京新聞 【協賛】株式会社ニコン／株式会社ニコンイメージングジャパン／凸版印刷株式会社 【協力】株式会社カラーサイエンスラボ
【観覧料】一般 700(560)円／学生 600(480)円／中高生・65歳以上 500(400)円 ※()は20名以上の団体料金

1-3ページの作品は全て〈ヒューマン・スプリング〉2018年 作家蔵 発色現像方式印画 インスタレーション上、作品はトリミングの可能性があります。
*志賀理江子、本展覧会図録より ©Lieko Shiga



志賀理江子 Shiga Lieko

1980年、愛知県生まれ。2000年東京工芸大学写真学科中退後渡英、04年Chelsea College of Art and Design(ロンドン)卒業。2008年より宮城県在住。11年東日本大震災で被災しながらも制作を続け、12年「螺旋海岸」展(個展・せんだいメディアテーク)開催。その他、15年「In the Wake」展(ポストン美術館)、「New Photography 2015」展(ニューヨーク近代美術館)、17年「ブラインド・デート」展(個展・猪熊弦一郎現代美術館)等多数。



2018年8月7日 作品撮影会の様子



写真の起源 英国

The Origin of Photography: Great Britain

3F 2019.3.5|火|-5.6|月・振休|

18世紀末より、ヨーロッパでは各地の研究者たちによって、さまざまな写真技術が試みられました。英国の初期写真には、写真文化のルーツとなる重要な発明や作品が数多くあります。

本展では、当館のコレクションに加え、世界最古の写真協会であるRPS(ロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティ)のコレクションを有するヴィクトリア&アルバート博物館と国立科学メディア博物館のほか、大英図書館、ヒストリック・イングランド・アーカイヴ、セント・アンドリューズ大学図書館などが所蔵する、日本未公開の初期写真を多数公開します。

写真発祥の国のひとつである英国の初期写真を、最新の研究に基づいて、初期写真史の新たな側面として日本で展覧する初めての機会です。



《海辺の断崖にある洞窟、デヴォン州ダウリッシュ、イングランド》
ジョン・ハーシェル 1816年 カメラ・ルシードを用いたドローイング
東京都写真美術館蔵



《タルボット家の次女・ラザモンド・コンスタンスの肖像》ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット 1844年 単塩紙(図版左)
カロタイプネガ(図版右) 東京都写真美術館蔵



植物学者であるアンナ・アトキンス(一七九一―一八七一年)は、世界で最初の女性写真家であると考えられる。タルボットから直接写真技術を学び、ハーシェルからサイアノタイプノタイプの技術を習得した。アトキンスはカメラを使って撮影するのではなく、植物や海草を置いて露光することで画像を作成した。標本のように、印画紙の上に植物や海草を置いて露光することで画像を作成した。

《ギンシダ(ジャマイカ)》アンナ・アトキンス
1851-54年頃 サイアノタイプ 東京都写真美術館蔵

主な個展

- 【2001】「浮遊する出来事」グラフィックギャラリー、大阪 3月30日-4月10日
- 【2005】「リリー」グラフィックメディア・ジエム、大阪 5月21日-6月26日
- 【2006】「リリー」ニューク・ギャラリー、パリ 2006年12月17日-2007年1月13日
- 【2011】「カナリア門 志賀理江子写真展」三菱地所アルティウム、福岡 2月19日-3月11日 / 「カナリア門」ギャラリー・プリスカ・バスカ、ケルン 3月24日-7月30日
- 【2012-13】「志賀理江子 螺旋海岸」せんだいメディアテーク6階 ギャラリー4200、仙台 / 2012年11月7日-2013年1月14日
- 【2017】「ブラインドデート」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川 7月10日-9月3日

関連イベント

アーティスト・トーク
[日時] 2019.3.10(日)14:00-16:00(13:30開場)
[会場] 東京都写真美術館 1階ホール [定員] 190名
*当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。番号順入場、自由席。

ワークショップ ひとつの石
参加者が拾った「ひとつの石」を持ち寄っていただき、作家と共にその石について語り合うワークショップです。
[日時] 2019.3.21(木・祝)14:30-17:30予定
[定員] 20名 事前申込制
*申込み方法は後日、当館ホームページに掲載します。

作品制作チームによるギャラリートーク
2019年3月6日(水)16:00より作品制作に携わったメンバーで展示解説を行います。

担当芸員によるギャラリートーク
会期中の第2・第4金曜日14:00より担当芸員による展示解説を行います。うち、3月22日は手話通訳つきで行います。
ギャラリートーク参加の方は、展示会チケット(当日有効)をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

てつがくカフェ「ヒューマン・スプリング」



てつがくカフェは、わたしたちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん身を引き離し、「そもそもそれって何なのか」といった問いを投げかけ、「対話」を通して自分自身の考えを逞しくすることの難しさや楽しさを体験するものです。本展覧会では、ふたつのテーマについて参加者の皆さまと共に考えます。

ファシリテーター: 西村高宏(てつがくカフェ@せんだい)
ファシリテーション・グラフィック: 近田真美子(てつがくカフェ@せんだい)
[日時] 2019.4.13(土)第1回 展覧会から「ヒューマン」を考える
2019.4.27(土)第2回 展覧会から「スプリング」を考える
各回14:00-17:00 [定員] 各回50名 各回事前申込制
*申込み方法は後日、当館ホームページに掲載します。

*芸員のギャラリートークを除く全ての関連イベントに作家が来場する予定です。 *事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

[主催] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 東京新聞 [協賛] 東京都写真美術館支援会 [協力] ANA [観覧料] 一般 900(720)円 / 学生 800(640)円 / 中高生・65歳以上 700(560)円 ※()は20名以上の団体料金

チャース)を発明します。これは撮影したネガ像から、ポジ像のプリントを作成する方式で、その後150年にわたって中心的に用いられる写真方式の元祖となりました。

天文学者・数学者のジョン・ハーシェル(1792-1871年)は、1842年に青写真(サイアノタイプ)を発明します。日光をあてて、鉄塩の化学反応を利用した写真技法は、美しい青色が特徴です。最初にフォトグラフィ(Photography、写真)や、ネガティブ(negative、陰画)、ポジティブ(positive、陽画)という言葉を使ったのもハーシェルでした。

フレデリック・アーチャー(1813-57年)は、1851年に科学雑誌『ケミスト』にコロディオン湿板方式を発表しました。ガラス板に感光乳剤を引き、それが乾かないうちに撮影・現像をする写真技法で、それから30年以上も、写真の中心的な技法として、欧米や日本でも広く使われていきました。



《ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットの肖像》アントワース・クローデ 1845年頃 ダゲレオタイプ 大英図書館蔵

第二章 ヴィクトリア朝の文化

英国でさまざまな写真技法が発明され、発達していった背景には、ヴィクトリア朝(1837-1901年)の、産業革命による経済発展があります。写真技術は、まさに大英帝国の絶頂期に産声を上げ、その栄華を写し続けたのです。

また、ロンドンでは1851年と1862年に万国博覧会が開催されました。二度目の万博では、写真のセクションが設けられ、多くの人が写真を見るために押し寄せました。



(写真左)レディング写真工房は、タルボットの側近であるニコラス・ヘネマン(一八三二-一八九八)が、一八四三年に設立した写真工房。ロンドン・レイコック間を鉄道で移動する場合、レディングはちょうど中間に位置する。この工房ではヘネマンの写真だけでなく、世界初の写真集『自然の鉛筆』も制作され、紙ネガによって撮影された写真の普及に貢献した。

- 1)《クリスタルパレス、ハイド・パーク》制作者不詳 1851年 ダゲレオタイプ 東京都写真美術館
- 2)《クレメンティナ・モウド》クレメンティナ・ヘイワード子爵夫人 1863年 鶏卵紙 国立科学メディア博物館
- 3)《レディング写真工房》ニコラス・ヘネマン 1846年 単塩紙 大英図書館
- 4)《ウェストミンスター寺院の内装、東向聖歌隊台》ヴィクター・アルバート・プラウト 1860年以前 鶏卵紙 ヒストリック・イングランド・アーカイヴ
- 5)《リージェンツ・パーク動物園のカバ、1852年、ロンドン》フアン・ドゥ・モンティゾン伯爵 1852年 単塩紙 大英図書館
- 6)《ネルソン・コラム建設中のトラファルガー広場、ロンドン、1844年4月》ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット 1844年 単塩紙 大英図書館
- 7)《セント・ジョンス・カレッジのブリッジ、オブ・サイズ、ケンブリッジ》ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット 1845年頃 単塩紙 日本大学芸術学部
- 8)《死の影の谷》ロジャー・フェントン 1855年 単塩紙 ヴィクトリア&アルバート博物館
- 9)《日英修好通商条約の交渉にあたった外国奉行たち》ナソー・ジョスリン 鶏卵紙 1858年 個人蔵
- 10)《キャロリング》ヘンリー・ピーチ・ロビンソン ゼラチン・シルバー・プリント(P.O.P)後年のプリント 1887年 東京都写真美術館
- 11)《トルコの夏服を着た自画像》フランシス・プリス 1857年 鶏卵紙 東京都写真美術館
- 12)ウィリアム・バルトン著『外国写真展覧会 目録』1893年 東京都写真美術館 ※館名は所蔵先



第三章 英国から世界へ

1850年代に入ると、英国の写真師は国外へと活躍の場を広げます。その大きな動機は「外交」と「オリエンタリズム」です。

1853年から56年にかけてクリミア半島で繰り広げられた戦争では、はじめて公式記録に写真が用いられました。ロジャー・フェントン(1891-69年)は、戦場に砲弾が転がる谷をモチーフに、誰ひとり写っていない戦場をとらえています。アメリカの南北戦争を民間向けに記録した写真集を制作したのは、スコットランド人のアレキサンダー・ガードナー(1821-82年)です。フランシス・プリス(1822-98年)は、大判(16×20インチ)カメラで中東やエジプトの風景や人々の様子を撮影し、英国の人々のオリエンタリズムに応えました。

1853年、ペリー提督率いる東インド艦隊が日本を開港へと導くと、英国も条約を締結し、写真師たちが来日しました。そして、写真文化が日本にも広まっていき、1891年には「外国写真画展覧会」が開催されました。300点を超える国外の写真が日本ではじめて紹介され、英国の作品も出品されたのです。

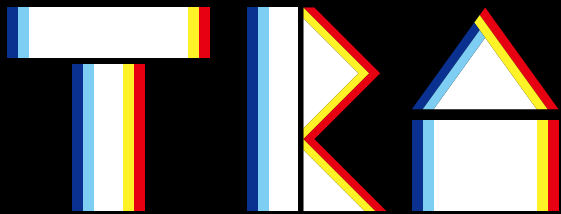


担当学芸員によるギャラリートーク

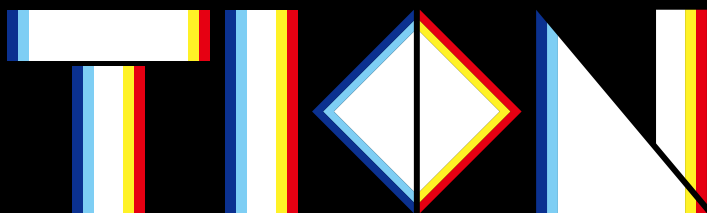
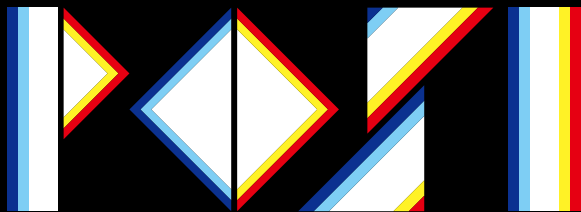
会期中の第1・第3金曜日および4月29日、5月3日、5月4日、5月5日の14:00より。展覧会チケット(当日消印)をご持参ください。

関連イベント

詳細は決定次第ホームページでお知らせします。
*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。



The Art of Transposition



トランスポジション
変わる術

Friday, 2/8 – Sunday, 2/24 / 2019
[15days] Closed Tue.12, Mon.18

平成31年2月8日(金)～2月24日(日)
《15日間》12日(火)、18日(月)休館

会場／東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、
恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所 ほか
時間／10:00～20:00 ※最終日は18:00まで
入場／無料 ※定員制のプログラム(上映、ライブ、シンポジウムなど)は有料

www.yebizo.com

TOP MUSEUM



第11回
恵比寿
映像祭

Yebisu International Festival for
Art & Alternative Visions 2019

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

第11回恵比寿映像祭 Yebisu International Festival for
Art & Alternative Visions 2019

視点を換え、未来をひらく

違う場所へ移動すること／すでにあるものや作法を異なるものに置き換えてみること／
違う視点で見つめてみること —— 変わる術としてのトランスポジション

今いる位置から違うところへ移動すること、あるいは、すでにある作法を異なるものに置き換えることをトランスポジションといいます。視点の変化や編集の緩急、ひとつの主題を異なるメディアやメソッドで表現すること、前提となる文化や物理的な環境を変えることなど、多様なトランスポジションの妙によって、アートや映像表現の面白さは形作られます。第11回恵比寿映像祭では、「トランスポジション」をキーワードに、多彩な作品とプログラムをご紹介します。トランスポジションは、既存のあり方を否定し壊すこととは限りません。これまでの常識やルールがうまく機能しないとき、意識的に異なる場所に立つことは、ひとつではない答を模索し続ける術であるとともに、変わらないもの、換え難いあり方を見出すための問いとなります。様々なトランスポジションを味わいながら、能動的なアクションと創造性について、作り手、送り手、そして観客の皆様とともに考えたいと思います。



岡田裕子《エンゲージド・ボディ》(新作)2019年
[初期イメージドローイング] OKADA Hiroko,
Engaged Body (New work), 2019 [first drawing image]



【出品予定作家】

ルイズ・ボツカイ(ブラジル)／カロリナ・ブレグワ(ポーランド)／地主麻衣子(日本)／ミハイル・カリキス(ギリシア/イギリス)／草野なつか(日本)／牧野貴(日本)／ジェシー・マククリーン(アメリカ)／岡田裕子(日本)／デヴィッド・オライリー(アイルランド)／サシャ・ライヒシュタイン(スイス/オーストリア)／シリーン・セノ(フィリピン)／ユニヴァーサル・エヴリシング(イギリス)／ほか

1) デヴィッド・オライリー《エヴリシング》2017年 David O'REILLY, *Everything*, 2017 ©David O'Reilly 2) ミハイル・カリキス《とくべつな抗議活動》(プロダクション・フォト) 2018年 Mikhail KARIKIS, *No Ordinary Protest* (film production photograph), 2018 3) 草野なつか《王国(あるいはその家について)》(150分版) 2017-2018年 KUSANO Natsuka, *Domains* (Long version), 2017-2018 ©Natsuki Kuroda 4) ジェシー・マククリーン《あなたが行くところどこにでも》2017年 Jesse MCLEAN, *Wherever You Go, There We Are*, 2017 ©Jesse Mclean Courtesy of Video Data Bank, www.vdb.org, School of the Art Institute of Chicago 5) カロリナ・ブレグワ《広場》2018年 Karolina BREGULA, *Square (Skwer)*, 2018 6) サシャ・ライヒシュタイン《征服者の図案》2017年 Sascha REICHSTEIN, *Patterns of the Conquerors*, 2017

【主催】東京都／東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本経済新聞社

【共催】サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館 [後援] 駐日フィリピン共和国大使館／TBS／J-WAVE 81.3FM
【協賛】ANA／サッポロビール株式会社／東京都写真美術館支援会員 [協力] びあ株式会社／ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社ロボット

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

小さいながらもたしかなこと 日本の新進作家vol.15

Things So Faint But Real: Contemporary Japanese Photography vol.15

2F 2018.12.1|土|-2019.1.27|日|



森栄喜〈Family Regained〉より 2017年 発色現象方式印画 作家蔵



細倉真弓〈川崎〉より 2016年 発色現象方式印画 作家蔵

出品作家 森栄喜、ミヤギフトシ、細倉真弓、石野郁和、河合智子

|担当学芸員によるギャラリートーク

会期中の第2・第4金曜日14:00より。観覧チケット(当日消印)をご持参ください。

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

[主催] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/東京新聞 [助成] 芸術文化振興基金 [協賛] 凸版印刷株式会社/東京都写真美術館支援会員 [観覧料] 一般 700(560)円/学生 600(480)円/中学生・65歳以上 500(400)円 ※()は20名以上の団体料金

「日本の新進作家」展は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘するため、新しい創造活動の展開の場として2002年より開催しています。15回目となる本展では、「小さいながらもたしかなこと」をテーマに掲げ、自らの感性や考え、アイデンティティやリアリティを手がかりに作品を制作する5名の作家をご紹介します。

予測困難な自然災害や広がりを見せる経済格差、LGBTの人々に対する法的整備の遅れ等、個人をめぐる状況がゆれ動き、たしかなことを見出しにくい時代に、作家によって作品に込められた「たしかなこと」。その一つ一つは決して大きなものではないかもしれませんが、わたしたちに、今を生き抜く勇気や希望を与えてくれます。本展では、作家それぞれの「小さいながらもたしかなこと」に迫り、その表現の射程を探ります。

|関連イベント

作家とゲストによる対談

[日時] 2019.1.11(金) 18:00-19:30

ミヤギフトシ×岡田利規(演劇作家、小説家)

2019.1.19(土) 15:00-16:30

森栄喜×ブブド・ラ・マドレーヌ(アーティスト)

[会場] 東京都写真美術館 1階スタジオ [定員] 各回50名

*当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。
番号順入場、自由席。

森栄喜による朗読パフォーマンス

「せっかちな未来/An Impatient Future」

[日時] 2019.1.18(金)18:00-18:15(予定)

2階展示室内、森栄喜の展示スペースで作家本人と俳優の石倉来輝(劇団まごど)による朗読パフォーマンスを行います。本展チケット(当日消印)をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

建築 × 写真 このみに在る光

Architecture x Photography: A Light Existing Only Here

3F 2018.11.10|土|-2019.1.27|日|



本展では東京都写真美術館のコレクションを中心として、さまざまな建築を捉えた作品を展示します。写真が発明された頃からどのような建築が写されてきたのか、そして現代の写真家がどのように建築を捉えてきたのかを紹介いたします。その中には、今ではすでに存在しないものや、実際に見ることが困難なものも少なくありません。写真家が建築を撮るときに感じた光を追体験していただけることでしょう。



|担当学芸員によるギャラリートーク

会期中の第1・第3金曜日14:00より。観覧チケット(当日消印)をご持参ください。

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

1) 渡辺義雄〈伊勢神宮〉より《内宮東宝殿》1953年 2) ベレニス・アポット〈変わりゆくニューヨーク〉より《ウォーターフロント》1938年 2点とも東京都写真美術館蔵

[主催] 東京都 東京都写真美術館 [協力] 株式会社写真弘社/有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー [観覧料] 一般 600(480)円/学生 500(400)円/中学生・65歳以上 400(320) ※()は20名以上の団体料金

APAアワード2019

第47回公益社団法人日本広告写真家協会公募展

B1F 2019.3.2|土|-3.17|日|

実際の広告として世の中に流通した作品を募集する「広告作品部門」と、写真家の新たな表現への挑戦を募集する「写真作品部門」の2部門の受賞作品を展示します。

[主催] 公益社団法人日本広告写真家協会 [後援] 経済産業省/文化庁/東京都 [共催] 東京都写真美術館 [協賛] APA法人賛助会員各社 [観覧料] 一般500(400)円/学生(高校生以上)・65歳以上 300(240)円/中学生以下無料 ※()は20名以上の団体料金

マイケル・ケンナ写真展

MICHAEL KENNA A 45 Year Odyssey 1973-2018

B1F 2018.12.1|土|- 2019.1.27|日|

世界屈指の風景写真家、マイケル・ケンナの日本初の回顧展を開催いたします。ケンナは1953年イギリス生まれ、1977年アメリカに渡り、写真家として活躍。静謐で叙情を湛えたモノクロームの写真は多くのファンを魅了しています。長時間露光により、移ろう自然の神秘、多様な文化への憧憬を一葉の印画紙に焼き付けます。

本展では、45年にわたるキャリアから代表作169点を展覧。ケンナの愛する日本の風景を始め世界各地で撮影した名作に加え、特別展示としてナチスの強制収容所跡を12年かけて撮影した連作や、人物を被写体とした連作なども日本で初めて展覧いたします。

◎お問い合わせ≫ ガラリー・アートアンリミテッド 03-6805-5280
*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。



White Bird Flying, Paris, France, 2007 Photo ©Michael Kenna/RAM

[主催] RAM/ギャラリー・アートアンリミテッド [共催] 東京都写真美術館
[観覧料] 一般 1,000(800)円/学生 800(640)円/中高生・65歳以上 600(480)円 ※()は20名以上の団体料金



アフガニスタン ©Yoshino Oishi

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

[主催] クレヴィス [共催] 東京都写真美術館
[観覧料] 一般 1,000(800)円/学生 800(640)円/中高生・65歳以上 600(480)円 ※()は20名以上の団体料金

大石芳野写真展 戦禍の記憶

B1F 2019.3.23|土|- 5.12|日|

20世紀は「戦争の世紀」ともいわれます。二度にわたる世界大戦で人類の危機とでもいふべき大量の殺戮と破壊をもたらした後も安寧を迎えることはなく、21世紀を迎えてもなお、世界のどこかでひとときも収まることなく戦争が続いています。

戦争の悲惨な傷痕に今なお苦しむ声なき民に向きあい、平和の尊さを問いつづける大石芳野(1943年-)。本展では約40年にわたり、世界中で戦争の犠牲となった人々取材し、いつまでも記憶される戦禍の傷にレンズを向けてきた作品約150点を展覧します。

| 関連イベント 大石芳野 講演会

[日時] 2019.3.23(土)および4.20(土)
※開催時間の詳細は決定次第ホームページでお知らせします。
[会場] 東京都写真美術館 1階ホール
[定員] 190名 参加無料(ただし、本展の展覧会チケットが必要です)
※当日10:00より1階受付にて入場整理券を配布します

◎お問い合わせ≫ 株式会社クレヴィス 03-6427-2806
◎ホームページ≫ <http://www.crevis.co.jp>

1F HALL / 上映

最新の上映スケジュールはこちら▶



1F 「3大テノール 夢のコンサート」 アンコール上映

プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラス、ルチアーノ・パヴァロッティ、オペラ界を代表するテノール歌手三人による「3大テノール」は、1990年、サッカーW杯イタリア大会決勝戦の前夜祭コンサートで初共演。奇跡と言われたその舞台は世界中で放映され、CDアルバムは空前の大ベストセラーに。その後3人のコンサートはW杯の度に催され、1996年に初めて実現した世界ツアーでは各地で8万人を超える観客が詰め掛け、世界中に「3大テノール」ブームを巻き起こした。2007年にパヴァロッティが世を去り、3大テノールの活動は幕を閉じたが、世界中の幅広い音楽ファンをクラシック音楽にいだった功績は計り知れない。今回の上映では、秘蔵のライブ映像集「3大テノール 夢のコンサート」をアンコール上映。



©Major Entertainment

〈お問い合わせ先〉楽学会(がくがかい) 03-3498-2508

【上映作品】

東京公演を含む秘蔵のライブ映像29曲と貴重なインタビュー。数度にわたる世界ツアーで収録された、東京公演を含む7つの秘蔵のコンサート映像から最も美しい瞬間を集め、貴重なインタビューとリハーサル・シーンを交えて新たに編集。20年以上の時を経て初めて公開される夢の90分! セレブリティが顔を揃えた会場の華やかな雰囲気も必見!

【上映期間】

2018.12.22(土)-2019.1.20(日)
[休映日]
12.29(土)-1.4(金)、1.7(月)、1.15(火)
[上映時間] 13:00/15:00
[料金] 当日券:一律2,800円
※各種割引はございません。

↑
両映画
共通
↓

○未就学児の入場はご遠慮ください。 ○全席指定/190席/各回定員入替制/立ち見不可/事前予約不可
○当日午前10:00(1/2、1/3は11:00)より、その日の全ての上映回について受付を開始いたします。 ○前売券をお持ちの方は、ご鑑賞当日、受付にて座席指定券とお引換ください。○満席の場合、ご入場をお断りいたしますので、予めご了承ください。 ○開場は各上映開始時間の10分前を予定しています。

1F ニューイヤー! クラシック音楽映画特選上映 「オーケストラの少女」「グレート・ワルツ」

〈お問い合わせ先〉
楽学会(がくがかい) 03-3498-2508

新春を寿ぎ、恵比寿ガーデンプレイス内の東京都写真美術館ホールにて、1月2日~4日の3日間、クラシック音楽映画の名作を特別上映! 上映作品は、ワルツ王ヨハン・シュトラウス二世の伝記映画「グレート・ワルツ」と、数多のオーケストラ物の原点となった映画「オーケストラの少女」の2作品を上映いたします。

[上映期間] 2019.1.2(水)-1.4(金)
[上映時間] 13:00「オーケストラの少女」/15:00「グレート・ワルツ」
[料金] 前売券は販売いたしません。当日券:各1,000円
各種割引(以下の方は当日料金が割引になります。)
○映画「3大テノール 夢のコンサート」の半券、または前売鑑賞券提示
(1枚につき、お1人様1回の割引)各500円
○当館で開催の展覧会の半券持参者(半券1枚につき、お1人様一回の割引)各500円
○当館年間パスポート提示 各500円



「オーケストラの少女」

「グレート・ワルツ」

事業内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報はホームページをご覧ください。

支援会員

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、
次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

《特別賛助会員》
キヤノン(株)
(株)資生堂
全日本空輸(株)
(株)ニコン

《賛助会員》
キヤノンマーケティングジャパン(株)
ゲッティイメージズジャパン(株)
大日本印刷(株)
東急建設(株)
凸版印刷(株)
富士フイルム(株)
(株)リコー

《特別支援会員》
アサヒグループホールディングス(株)
サッポロ不動産開発(株)
サッポロホールディングス(株)

《支援会員》
(株)アール&キャリア
(株)I&S BBDO
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
アオイネオン(株)
(株)AOI Pro.
(株)アサソー ディ・ケイ
旭化成(株)
朝日新聞社
(株)朝日新聞出版
朝日生命保険(相)
(有)アスペン/POLARIS
(株)アマナ
(株)岩波書店
(株)潮出版社
(株)栄光社
(株)エージーピー
(株)エスジー
(株)ADKアーツ
(株)NHKアート
NHK営業サービス(株)
(株)NHKエデュケーション
(株)NHKエンタープライズ
(株)NHKグローバルメディアサービス
(株)NHK出版
(株)NHKビジネスクリエイト
(株)NHKメディアテクノロジー
エルメス財団
オリンパス(株)
(株)オンワードホールディングス
カールツァイス(株)
花王(株)

鹿島建設(株)
(株)KADOKAWA
カトーレック(株)
神奈川新聞社
カメラショップ(株)
(株)かんば生命保険
(株)キクチ科学研究所
(株)キタムラ
キックマン(株)
(株)紀伊國屋書店
ギャラリー小柳
共同印刷(株)
(一社)共同通信社
空港施設(株)
(株)久米設計
グローリー(株)
ケンコー/トキナー/スリック
興亜硝子(株)
(株)弘亜社
(株)廣濟堂
(株)講談社
(株)光文社
(株)国書刊行会
(株)コスモスインターナショナル
(株)コーセー
コダック(同)
コダックアラリスジャパン(株)
(株)コバヤシ
小山登美夫ギャラリー(株)
三菱石油(株)
三機工業(株)
産経新聞社
サントリホールディングス(株)
(株)サンライズ
(株)ジェイアール東日本企画
JSR(株)
JXTGホールディングス(株)
(株)JT
ジェイティービー印刷(株)
(株)シグマ
(株)実業之日本社
信濃毎日新聞社
清水建設(株)
(株)写真弘社
写真の学校/東京写真学園
チャンネル(株)
(株)集英社
(株)主婦と生活社
(株)小学館
城西国際大学メディア学部
松竹(株)
信越化学工業(株)
(株)新潮社
(株)スタジオアリス
(株)スタジオエムジー

(株)スタジオジブリ
スターツ出版(株)
(株)SUBARU
住友化学(株)
住友生命保険(相)
(株)生活の友社
セイコーホールディングス(株)
成美製版(株)
双日(株)
ソニー(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
第一生命保険(株)
第一法規(株)
(株)ダイケンビルサービス
(株)久米設計
大成建設(株)
(株)大丸松坂屋百貨店
大和証券(株)
(株)弘亜社
(株)廣濟堂
(株)講談社
(株)光文社
(株)国書刊行会
(株)コスモスインターナショナル
(株)コーセー
コダック(同)
コダックアラリスジャパン(株)
(株)コバヤシ
小山登美夫ギャラリー(株)
三菱石油(株)
三機工業(株)
産経新聞社
サントリホールディングス(株)
(株)サンライズ
(株)ジェイアール東日本企画
JSR(株)
JXTGホールディングス(株)
(株)JT
ジェイティービー印刷(株)
(株)シグマ
(株)実業之日本社
信濃毎日新聞社
清水建設(株)
(株)写真弘社
写真の学校/東京写真学園
チャンネル(株)
(株)集英社
(株)主婦と生活社
(株)小学館
城西国際大学メディア学部
松竹(株)
信越化学工業(株)
(株)新潮社
(株)スタジオアリス
(株)スタジオエムジー

東京メトロポリタンテレビジョン(株)
(株)東芝
東宝(株)
(株)東北新社
(株)東洋経済新報社
(株)トキワ
(株)徳間書店
戸田建設(株)
トヨタ自動車(株)
(株)トロンマネージメント
(株)ニコイメーキングジャパン
日油(株)
日活(株)
(株)日経BP
日光ケミカルズ(株)
日産自動車(株)
(株)日本カメラ社
日本空港ビルデング(株)
日本経済新聞社
日本航空電子工業(株)
(株)宝島社
(株)竹中工務店
玉川大学芸術学部
(株)タムロン
(株)丹靑社
千葉商科大学政策情報学部
(株)中央公論新社
中外製薬(株)
帝人(株)
(株)TBSテレビ
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)
(株)テレビ朝日
(株)テレビ東京
電源開発(株)
(株)電通
東亜建設工業(株)
東映(株)
東京海上日動火災保険(株)
東京急行電鉄(株)
東京工芸大学
東京新聞・中日新聞社
(株)東京スタディオ
東京造形大学
東京総合写真専門学校
東京建物(株)
東京地下鉄(株)
東京テアトル(株)
東京都競馬(株)
東京ドーム
(株)東京ニュース通信社
(学)専門学校 東京ビジュアルアーツ
(株)東京美術倶楽部

(株)ビックカメラ
(株)ビデオプロモーション
(株)ピラミッドフィルム
(株)ファーストリテイリング
(株)フェドラー
(株)フォトメディア
(株)フジテレビジョン
(株)プラザクリエイト
(株)プリンスホテル
(株)フレームマン
(株)文化工房
(株)ニコンイメーキングジャパン
ベルボン(株)
北海道新聞社
(株)ホテルオークラ東京
(株)堀内カラー
本田技研工業(株)
毎日新聞社
(株)マガジンハウス
丸善(株)
マルミ光機(株)
(株)マンダム
(株)みずほ銀行
三井住友海上火災保険(株)
三井倉庫ホールディングス(株)
三井不動産(株)
(株)三越伊勢丹 三越恵比寿店
三菱地所(株)
三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)
三菱電機(株)
三菱UFJ信託銀行(株)
(株)ミルボン
武蔵大学
明治安田生命保険(相)
森ビル(株)
ヤマトグループバルロジスティクスジャパン(株)
(株)吉野工業所
(株)ヨドバシカメラ
読売新聞社
ライオン(株)
ライカカメラジャパン(株)
リコーイメーキング(株)
リシュモン ジャパン(株)
モンブラン
(株)良品計画
(株)ロボット
(株)ワコウ・ワークス・オブ・アート
(株)ワコール

2F SHOP
ミュージアム・ショップ

NADIFT
BAITEN

展覧会関連書籍はもちろん、季節のグッズも充実のミュージアムショップ。1977年に誕生したボラロイドカメラのアイコン的存在「One Step」を現代版にグレードアップした「OneStep2」が入荷！この冬のギフトにいかがでしょうか。

One Step 2 View Finder i-Type Camera (白/黒) 19,000円
フィルム(モノクロ/カラー) 2,700円 (価格はすべて税込)



詳細
ページは
こちら
▼
QRコード

営業時間/10:00-18:00(木・金は20:00まで)
TEL/03-6447-7684
定休日/毎週月曜日(そのほか美術館の休館日に準じます)

1F CAFE
カフェ

MAISON ICHI
BOULANGER-PÂTISSIER-TRAITEUR-CHARCUTIER

LUNCH MENU (11:30-15:00)

本日のキッシュ(自家製パン付き) 1,296円
季節のスूपとデリプレート(自家製パン付き) 1,296円

自家製パン、ドリンクはお持ち帰りできます
キッシュ各種 571円
自家製サンド 480円～ タルト各種 480円
スベルト小麦の田舎パン 1/4サイズ 430円 ホール 1,620円
コーヒー 540円/ティー 540円 ジュース・アルコール類もあります。
メニューは予告なく変更される場合があります。(価格はすべて税込)



詳細
ページは
こちら
▼
QRコード

営業時間/10:00-19:00(木・金は20:00まで)
TEL/03-6277-3862 定休日/毎週月曜日(そのほか美術館の休館日に準じます)

SCHEDULE / スケジュール

展覧会・イベント・上映の最新情報は、
topmuseum.jpまたはこちらへ▶



	3F	2F	B1F	1F
2018 12	建築×写真(収) 11.10(土)~2019.1.27(日)	小さいながらもたしかなこと 日本の新進作家vol.15(企) 12.1(土)~2019.1.27(日)	マイケル・ケンナ写真展 MICHAEL KENNA A 45 Year Odyssey 1973-2018 12.1(土)~2019.1.27(日)	「3大テノール 夢のコンサート」 アンコール上映 12.22(土)~2019.1.20(日)
2019 1				
2	第11回恵比寿映像祭「トランスポジション 変わる術」2.8(金)~2.24(日)			ニューイヤー! クラシック 音楽映画特選上映 「オーケストラの少女」 「グレート・ワルツ」 1.2(水)~1.4(金)
3	写真の起源 英国(企)	志賀理江子 ヒューマン・スプリング(収)	APAアワード2019 3.2(土)~3.17(日) 大石芳野写真展 戦禍の記憶	
4	3.5(火)~5.6(月・振休)	3.5(火)~5.6(月・振休)	3.23(土)~5.12(日)	
5				

「ぐるっとパス 2018」の
詳細はこちら▶



(収) 収蔵展 (企) 企画展
年間パスポートをお持ちの方はこちら▶



トップのお正月
年始特別開館の
お知らせ

新年は2019年1月2日(水)11:00より開館

1月2日は2階・3階展示室が無料!

雅楽演奏「とっぷ雅楽」、ギャラリートーク、ミュージアム・
ショップやカフェの福袋など、トップの新年をお楽しみく
ださい。最新情報はホームページをご確認ください。



雅楽演奏「とっぷ雅楽」

割引料金について

展覧会を割引料金にてご覧いただけます

- 1.20名以上の団体のお客様 観覧料が2割引
2.各種会員の方 観覧料が2割引
□JRE CARD(2018年7月2日にアトレビューSuicaカードより
移行のクレジットカード)
□MIカード(三越伊勢丹グループのクレジットカード)
□ウエルカムカード(訪日外国人向けの割引カード)
□当館映画鑑賞券提示者
□財団他館友の会、年間パスポート会員
□JR東日本「大人の休日倶楽部」カード
3.親子ふれあいデー(毎月第3土曜日と引き続く日曜日が対象)
観覧料が5割引
□都民で18歳未満のお子様を連れてご家族が対象です。
※詳しくはお問い合わせください。

割引対象

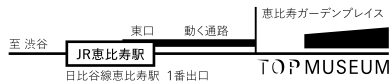
展覧会を無料でご覧いただけます

- 1.小学生以下
□障がい者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
□被爆者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
□愛の手帳・療育手帳提示者及びその介護者(2名まで)
□精神障害者福祉手帳提示者及びその介護者(2名まで)
□東京都内在住・在学の中学生
※教育活動(スクールプログラムなど)で当館をご観覧
希望の生徒と引率者は事前申告が必要です。
当館までお問い合わせください。
- 2.シルバーデー(毎月第3水曜日)
□65歳以上の方 ※証明できるものの提示が必要です

無料対象

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099 topmuseum.jp

開館時間 10:00-18:00(木・金は20:00まで)。2018年12月28日は10:00-18:00。2019年1月2日・3日は11:00-18:00、1月4日は10:00-18:00。
入館は閉館の30分前まで。

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始(2018年12月29日-2019年1月1日)、2019年1月28日-
2月7日および2月25日-3月1日。

東京都写真美術館ニュース「アイズ18」97号 □発行日:2018年12月27日/企画・編集:東京都写真美術館事業企画課
普及係 □印刷・製本:株式会社公栄社 □発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館©2018
□本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。※本誌編集ページに掲載されている観覧料は、原則として
消費税込みの価格です。事業内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報はホームページをご覧ください。

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。

